## 令和3年度第5回医療機能部会 議事要旨

- 1 日 時 令和3年11月17日(水) 16:30~18:30
- 2 場 所 北部合同庁舎 2階大会議室
- 3 参加者 医療機能部会構成員、事務局(※詳細は別添のとおり。)
- 4 議 題 整備基本計画について
  - (施設基本計画、整備手法・整備範囲、医療機器整備計画、情報システム整備計画)
- 5 議事要旨 ※「ア、イ、ウ、~」: 主な意見等 「→」: 主な意見等に対する事務局からの説明

## (1) 施設基本計画

- ア 市道大西大北線にメインの入り口を整備するとしているが、市道宇座線が拡張 され通りやすい道になったので、市道宇座線に入り口を整備した方がよいので は。また、敷地形状を利用して患者の入り口を2階とすることを検討してはどう か。
  - → 市道宇座線をメイン道路とするのは、高低差があるため上り下りが結構出る かもしれない。今後、設計事務所から委員と同じ提案が出てくるかもしれない ので、頂いた提案は今後の参考とする。
- イ 新病院へのアクセスとして、市道大西大北線に右折車線や道路拡張の整備をすることは可能なのか。この道路は間違いなく渋滞するので、どのように渋滞を解消するか考えた方がよい。
- ウ 立体駐車場を別棟で整備して病院棟と連結する方法は検討できないか。部門配 置計画は働いている職員の意見も聞いたらよいと思う。
- エ 高低差7~8mある部分に建物が跨ぐ形になるのか。
  - → そのような形を考えている。水勾配を考慮すると、実際は約5mの高低差に なると思う。

#### (2) 整備手法・整備範囲

- ア 保育所整備も計画されているが、医師会病院にある院内保育所を継続する方向 で検討してほしい。病院職員限定でサービスを提供している大きなメリットもあ る。
- イ 敷地内薬局は必要。
- ウ 公設民営なので、民間活力を取り入れた方がよい。建築のスピードや建設コストの削減を考えると、DB方式やECI方式がよいのではないか。
- エ DB方式とECI方式の違いは何か。
  - → DB方式は設計・施工を施工業者へ一括発注し、設計責任は施工業者が負 う。ECI方式は設計責任は設計業者が負い、施工業者が監修に関わる。
- オ 駐車場運営を民間が行う事は都会だとイメージできるが、北部地域では民間で の駐車場運営は成り立つものなのか。

- → 運営可能と思われる。また、駐車場を有料とするのは放置車両を防ぐ目的も ある。
- カ 県立北部病院の研修医宿舎は、北部地域のために予算を確保して整備している ので、新病院開院後も活用したほうがよい。
- キ 県立北部病院の研修医宿舎の建物自体はまだ利用できるが、新病院と距離がある点が研修医確保のデメリットとなる。
- ク 宿舎が近くにあるので県立北部病院へ来たいという研修医も多くいる。研修医 を増やすためには、宿舎を新築したほうがよいと思う。
  - → 宿舎を活用できないのであれば新築という選択肢しかないが、活用できるのであれば、新病院へ引き継ぐという選択も含めて議論していく。

# (3) 医療機器整備計画

- ア 基本合意書では、県立北部病院の資産は引き継がないこととなっている。県立 北部病院の医療機器等資産については、他の県立病院へニーズを確認した上で改 めて相談させて頂きたい。また、支払いが残っている高額機器の負債の取扱い や、CT、MRI等の大型医療機器の移設費用や設置費用等はどこが負担する か、といった課題は今後、協議していきたい。
- イ 県立北部病院の医療機器は、もともと北部の地域住民のために公費が投入されて整備されている。そのことを考慮して検討を進めて欲しい。
  - → 今後、保健医療部と病院事業局で整理を行う。
- ウ 医師会病院で行っていない婦人科や泌尿器科等で使用する安価な診療器具等 は、全て新しいものを揃える前提とするのではなく、円滑に診療が始められるよう、県立北部病院で利用している既存のものを引き継いで頂けるよう配慮してもらいたい。

# (4) 情報システム整備計画

- ア 北部医療センターがモデル地区としてICT医療を進めるというのはできないか。現在はICTが進み、遠隔地を繋いでリアルタイムにテレサージェリーが実施できるようだ。そうなれば田舎にいてもスキルアップが出来るため、若い医師 定着に繋がる可能性がある。
- イ ICTが進んでいるので、基本計画には無線環境の充実化といった内容も記載 してよいのでは。
  - → ICTの活用は国も推奨している。沖縄県は離島を抱えているため、国の補助を活用しながら、先進技術を導入できればよいと考えている。
- ウ本院と附属診療所の電子カルテは一体化するのか、或いは別で整備するのか。
  - → 診療所の電子カルテについては、来年以降、議論していく。

エ 必ずしも親病院と附属診療所の電子カルテを一体化した方がよいとは限らないので、一体化した場合と別で整備した場合のそれぞれのメリット・デメリットを 比較検討した方がよいと思う。

以上